

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6769 URL <https://www.thine.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）南 洋一郎
問合せ先責任者 （役職名）取締役総務部長 （氏名）山本 武男 TEL 03 (5217) 6660
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	2,613	△12.9	△470	—	△621	—	△529	—
2024年12月期第3四半期	3,000	△13.0	△201	—	△196	—	△196	—

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 △525百万円（－％） 2024年12月期第3四半期 △188百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△49.56	—
2024年12月期第3四半期	△18.39	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	9,755	8,908	89.7
2024年12月期	10,329	9,592	90.9

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 8,748百万円 2024年12月期 9,388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	4,620	0.1	△290	—	△407	—	△279	△26.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期 3 Q	12,340,100株	2024年12月期	12,340,100株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年12月期 3 Q	1,627,737株	2024年12月期	1,659,737株
---------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年12月期 3 Q	10,688,392株	2024年12月期 3 Q	10,678,578株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、雇用・所得環境の改善がみられ緩やかな回復基調で推移した一方、資源価格の高騰、物価上昇への懸念、中国経済の減速、米国の関税政策等の不安定な世界情勢により先行きの不透明感が継続しております。このような環境の下で、当社グループは2027年度を目標年次とする新中期経営戦略「Innovate100」を当期よりスタートいたしました。半導体、AI/IoTソリューション等から成る事業ポートフォリオを活かしつつ、今後の経済社会において、AI活用ユースケースの適用加速に寄与する革新的なソリューションを提供し、経済社会の生産性向上に取り組み、2027年度に連結売上高100億円超の実現を目指します。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、LSI事業では、国内市場においてOA機器市場向けで需要の回復傾向がみられた一方、アミューズメント市場向け等で在庫調整等の影響が継続し、また海外市場においても米国市場向けは順調に推移しましたが、中国市場向けは関税懸念の影響等により受注が減少し、全体として前期比11%の減少となりました。AIOT事業では、スマートメータ向け通信モジュール製品の量産出荷を開始したほか自動体外式除細動器（AED）、エレベータ遠隔監視用途向け等の製品出荷も順調に推移しましたが、ドライブレコーダ向けおよび自動販売機向け等において顧客需要の減少による受注減少の影響等により前期比17%の減少となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、26億13百万円（前期比12.9%減）となり、売上総利益は14億14百万円（前期比15.1%減）となりました。販売費および一般管理費については、新中期経営戦略「Innovate100」目標の達成に向けた戦略的な研究開発投資（9億32百万円、前期比3.9%増）を行った結果、販売費および一般管理費全体として、18億84百万円（前期比0.9%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業損失は4億70百万円（前期は営業損失2億1百万円）、減価償却費およびのれん償却費等を考慮しない営業利益（EBITDA※）はマイナス4億15百万円（前期はマイナス1億29百万円）となりました。また、前期末比で為替が大幅に円高進行した影響により為替差損1億54百万円を計上する等した結果、経常損失は6億21百万円（前期は経常損失1億96百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億29百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億96百万円）となりました。

※ EBITDA (Earnings before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

当社グループでは簡易的に営業利益に減価償却費、のれん償却費を加えて算出しております。

(セグメント別の状況)

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

(単位：百万円)

		2025年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期	増減率 (%)
LSI事業	売上高	1,719	1,922	△10.6
	営業利益	△403	△252	—
	EBITDA	△351	△183	—
AIOT事業	売上高	894	1,078	△17.1
	営業利益	△67	50	—
	EBITDA	△64	53	—
合計	売上高	2,613	3,000	△12.9
	営業利益	△470	△201	—
	EBITDA	△415	△129	—

※セグメント間の取引を相殺消去後の金額で記載しております。

(LSI事業)

当第3四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、日本市場では一部において需要の回復傾向がみられましたが、引き続き顧客の在庫調整等の影響が継続し、また海外市場においても米国市場向けは順調に推移しましたが、中国市場等において関税懸念の影響等もあり、全体として前期比11%の減少となりました。

産業機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の69%を占めております。OA機器市場向けでは顧客需要が順調に回復し、製品出荷が増加いたしました。アミューズメント機器市場向けにおいては依然として顧客の在庫調整等の影響が解消されず、産業機器市場向け全体としては前期比11%の減少となりました。

車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の19%を占めております。EVパネル向け新製品等の出荷が増加し、中国市場等において前期比で出荷が増加しましたが、車載機器市場向け全体としては前期比概ね同水準となりました。

民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の12%を占めております。2023年度より提供を開始した次世代高速インターフェース標準技術「V-by-One®HS plus Standard」の提供は順調に進行しておりますが、民生機器市場向け全体としては前期比22%の減少となりました。

これらの結果、LSI事業全体の売上高は17億19百万円（前期比10.6%減）、売上総利益は11億75百万円（前期比10.2%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、中期経営戦略「Innovate100」目標の達成に向けた戦略的な研究開発を積極的に実施しました。世界初のDSPレス技術により低遅延・低消費電力を実現するAIデータセンター向け光半導体製品の開発、EVパネル向け高速インターフェースV-by-One®HS新製品のラインアップ拡充、新規電源製品の開発、スマートモジュール活用ソリューションの開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、これらの活動により、当第3四半期連結累計期間において研究開発費9億8百万円を計上しました。なお、当社のAIデータセンター向け光半導体製品の開発については、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）における令和7年度社会実装・海外展開志向型戦略プログラムの活動として採択されており、研究開発費の一部については翌期以降に助成金として交付を受ける予定です。

これらの結果、LSI事業の当第3四半期連結累計期間における営業損失は4億3百万円（前期は営業損失2億52百万円）、EBITDAはマイナス3億51百万円（前期はマイナス1億83百万円）となりました。

（AIOT事業）

当第3四半期連結累計期間のAIOT事業の売上高は、スマートメータ用無線通信モジュールの量産出荷を開始したほか、自動体外式除細動器（AED）・エレベータ等の遠隔監視等向けの製品出荷が順調に推移した一方、ドライブレコーダ向けおよび自動販売機向け等の一部顧客需要の減少による受注減少等により、前期比で17.1%の減少となりました。これらの結果、AIOT事業の売上高は8億94百万円（前期比17.1%減）、売上総利益は2億38百万円（前期比32.9%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、AI・IoTを活用する新ニーズの拡大による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えたソリューションの開発に取り組み、音声通話機能付きゲートウェイ新製品の開発、スマートIoTルーターの開発等を行い、全体として研究開発費23百万円を計上いたしました。

これらの結果、AIOT事業の当第3四半期連結累計期間における営業損失は67百万円（前期は営業利益50百万円）、EBITDAはマイナス64百万円（前期はEBITDA 53百万円）となりました。

当社グループは半導体、AI/IoTソリューション等の事業間でのシナジーを一層高めるため、2025年7月1日付で、当社グループのAIOT事業の中核企業であるキャセイ・トライテック株式会社を「ザイン・モバイルテック株式会社」に社名変更いたしました。当社グループにおいてザイン（THine）ブランドのシナジーを活かした革新的ソリューション提供と社会貢献を目指して参ります。また、当社グループはAIOT事業の一環として、2024年度にサーバー事業を立ち上げ、連結子会社ザイン・ハイパーデータ株式会社を中国企業と合併にて設立致しましたが、昨今の米中問題に起因する当社事業環境の変化に鑑み、日本市場に対応した事業を進めるため合併契約を解消し、当社の100%子会社化して事業を推進していくこととしました。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

（2）財政状態に関する説明

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純損失を4億72百万円計上し、売上債権が4億32百万円減少した一方、棚卸資産が4億69百万円増加し、法人税等を87百万円支払ったことにより4億33百万円のマイナスとなりました。（前期は2百万円のプラス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の取得による支出75百万円があった一方、投資有価証券の売却2億91百万円等により1億74百万円のプラスとなりました。（前年同期は91百万円のマイナス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払1億60百万円等により1億39百万円のマイナスとなりました。（前年同期は1億61百万円のマイナス）これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として5億15百万円減少して当第3四半期連結会計期間末残高は67億91百万円となりました。

当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想については、2025年2月5日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2025年11月5日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,306,140	6,791,106
売掛金	1,144,360	675,021
商品及び製品	492,331	885,599
仕掛品	103,645	296,676
原材料	246,503	129,949
その他	264,662	348,467
流動資産合計	9,557,642	9,126,821
固定資産		
有形固定資産	161,654	147,051
無形固定資産		
その他	55,954	50,557
無形固定資産合計	55,954	50,557
投資その他の資産		
投資有価証券	415,890	329,634
繰延税金資産	51,045	16,525
その他	87,575	85,289
投資その他の資産合計	554,511	431,449
固定資産合計	772,120	629,059
資産合計	10,329,762	9,755,880
負債の部		
流動負債		
買掛金	289,825	476,501
未払法人税等	48,987	2,671
賞与引当金	45,291	67,260
役員賞与引当金	11,065	—
その他	200,701	142,348
流動負債合計	595,870	688,781
固定負債		
繰延税金負債	—	13,361
退職給付に係る負債	28,657	28,000
資産除去債務	26,997	27,167
その他	85,438	89,655
固定負債合計	141,093	158,185
負債合計	736,963	846,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,275,474	1,260,730
利益剰余金	9,213,023	8,523,150
自己株式	△2,354,609	△2,309,201
株主資本合計	9,309,155	8,649,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,878	30,274
為替換算調整勘定	52,492	68,536
その他の包括利益累計額合計	79,370	98,811
新株予約権	73,872	77,745
非支配株主持分	130,401	82,411
純資産合計	9,592,799	8,908,913
負債純資産合計	10,329,762	9,755,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,000,485	2,613,383
売上原価	1,334,971	1,199,312
売上総利益	1,665,513	1,414,071
販売費及び一般管理費	1,867,183	1,884,630
営業損失(△)	△201,669	△470,558
営業外収益		
受取利息	1,320	7,528
受取配当金	400	100
為替差益	1,682	—
補助金収入	5,322	—
雑収入	9,533	4,059
営業外収益合計	18,258	11,688
営業外費用		
支払利息	140	55
為替差損	—	154,197
創立費償却	972	—
開業費償却	5,081	—
投資事業組合運用損	6,840	7,888
営業外費用合計	13,035	162,141
経常損失(△)	△196,447	△621,011
特別利益		
投資有価証券売却益	—	134,341
新株予約権戻入益	77,083	14,820
特別利益合計	77,083	149,161
特別損失		
製品廃棄負担金	23,465	—
固定資産除却損	—	823
特別損失合計	23,465	823
税金等調整前四半期純損失(△)	△142,829	△472,673
法人税、住民税及び事業税	33,332	29,087
法人税等還付税額	—	△3,185
法人税等調整額	12,322	46,382
法人税等合計	45,654	72,284
四半期純損失(△)	△188,484	△544,958
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,914	△15,291
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△196,398	△529,667

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△188,484	△544,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	3,396
為替換算調整勘定	108	16,043
その他の包括利益合計	108	19,440
四半期包括利益	△188,376	△525,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196,290	△510,226
非支配株主に係る四半期包括利益	7,914	△15,291

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△142,829	△472,673
減価償却費	72,325	55,415
株式報酬費用	13,858	12,417
新株予約権戻入益	△77,083	△14,820
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42,504	21,968
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△235	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,222	△656
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△11,065
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,418	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	6,840	9,390
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△134,341
受取利息及び受取配当金	△1,720	△7,628
支払利息	140	55
為替差損益 (△は益)	△22,062	125,883
雑収入	—	△1,012
売上債権の増減額 (△は増加)	393,820	474,980
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△146,876	△469,296
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	21,890	△53,959
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,779	188,019
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△68,500	△76,599
その他	4,407	△3,062
小計	67,504	△356,984
利息及び配当金の受取額	1,637	7,653
利息の支払額	△140	△55
法人税等の支払額	△66,552	△87,609
法人税等の還付額	—	3,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,448	△433,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△69,577	△18,367
敷金及び保証金の差入による支出	△21,657	△588
敷金及び保証金の回収による収入	231	783
投資有価証券の取得による支出	△42	△75,000
投資有価証券の売却による収入	—	291,854
投資事業組合からの分配による収入	—	1,012
子会社株式の取得による支出	—	△26,698
その他	—	1,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,046	174,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△160,515	△160,205
非支配株主への配当金の支払額	△3,000	△6,000
自己株式の取得による支出	△84,786	—
非支配株主からの払込みによる収入	30,000	—
ストックオプションの行使による収入	56,465	26,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,837	△139,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,683	△116,196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△230,751	△515,033
現金及び現金同等物の期首残高	7,377,585	7,306,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,146,834	6,791,106

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
日本	1,085,375	795,365	1,880,741	—	1,880,741
韓国	96,533	1,760	98,293	—	98,293
台湾	101,242	—	101,242	—	101,242
中国	350,998	280,910	631,908	—	631,908
米国他	288,299	—	288,299	—	288,299
顧客との契約から生じる収益	1,922,449	1,078,036	3,000,485	—	3,000,485
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,922,449	1,078,036	3,000,485	—	3,000,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	562	581	△581	—
計	1,922,468	1,078,598	3,001,066	△581	3,000,485
セグメント利益又は損失 (△)	△252,695	51,025	△201,669	—	△201,669

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
日本	966,215	741,529	1,707,744	—	1,707,744
韓国	92,634	—	92,634	—	92,634
台湾	90,248	—	90,248	—	90,248
中国	306,573	152,655	459,229	—	459,229
米国他	263,527	—	263,527	—	263,527
顧客との契約から生じる収益	1,719,198	894,185	2,613,383	—	2,613,383
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,719,198	894,185	2,613,383	—	2,613,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,719,198	894,185	2,613,383	—	2,613,383
セグメント利益又は損失 (△)	△403,088	△67,470	△470,558	—	△470,558

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。